

「障害者雇用」という言葉が不要になる社会を目指して 有限会社 ファン工業（大分県）

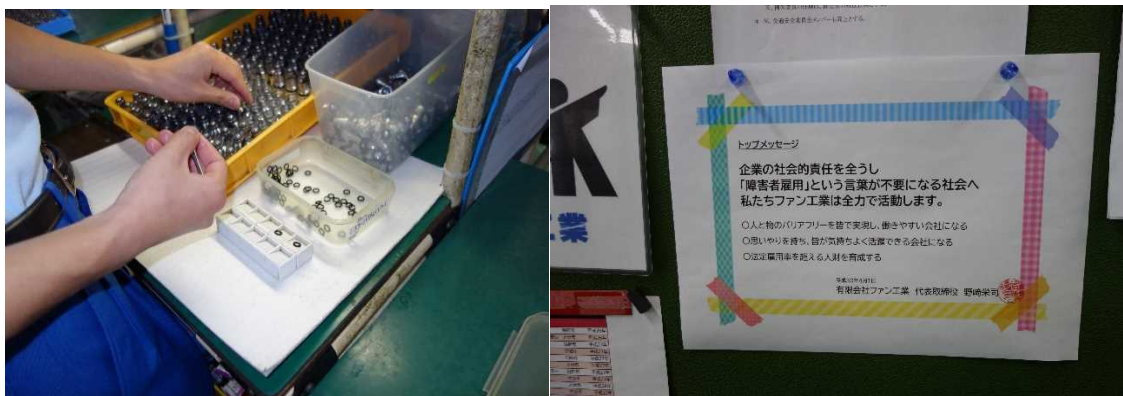
●現在、同社が雇用する障害者は4名で、うち2名はともに勤続20年以上。それ以外の2名はここ3年の間に採用。過去3年以内の採用者は他になく、評価項目の一つである「過去3年間に採用した障害者の就職6か月後の定着率90%以上」をクリア。会社全体として、有給休暇を取得しやすく働きやすい環境を整えており、従業員同士が協力し合う体制ができている。

●3年以内の採用者のうち1名は、令和2年4月1日付け新規学卒採用者。野崎社長が毎日の体調管理に留意し、業務日誌を活用して細かい変化も見逃さずにチェック。採用から6か月が経過し、令和2年10月からは正社員登用に。「本人も嬉しかったようで、その日を境に顔つきが変わり、行動がしっかりしてきました。戦力として頼りにしています。」と社長談。

●同社では、障害者のための就労支援機器を導入。扱う部品が何千種類もあるため、完ぺきに覚えるのは至難の業。そこで、平成25年12月からQRコードリーダーの設置に取り組み、令和元年10月に導入を完了。品番や部品名を確認できる仕組みのため、障害のない従業員のミスも減少し、生産性がアップ。また、細かい部品の数え間違いをなくすために「キット箱」を使用（写真左下）。10個単位で詰めるもので、こちらは平成19年から導入を始め、現在も増設中。

●野崎社長と川内野常務は「障害者を雇用するのはごく当たり前のことで、特別なことはない。」「自社のみでなく、他社にも啓発することで、一人でも多くの障害者雇用につなげたい。」との思いで取り組んでおり、各種セミナーや研修などの講師依頼を精力的にこなしている。「障害者雇用」という言葉が不要になる社会を目指しています、と語っていたのが印象的。このフレーズは「トップメッセージ」として、同社内の掲示板に掲示されている（写真右下）。

●障害者だけでなく、女性や高齢者も活躍している同社。従業員の女性比率は75%と高く、一方で、最高齢の人は76歳（フルタイム雇用）。



- ・所在地：大分県大分市
- ・従業員数：約112名（うち障害者4名）
- ・特例子会社：非該当
- ・事業概要：水栓金具の製造・組立作業